

フォークリフトタイヤを交換すべきタイミングとは

ノーパンクタイヤは空気入りタイヤとは異なり、ゴムの塊のため使い切ってもパンクすることはありません。

ただ、グリップ力が低下したりホイールが破損したりするため、使用限界ライン近くまで使ったら交換が必要となります。



タイヤの側面に「WEAR LIMIT」などと書かれた部分があります。

その文字が書かれた上のラインが使用限界ですので、**ラインの少し上のあたりまですり減ってきたら**交換をご依頼ください。

タイヤ表面のトレッドパターンと呼ばれる溝により、タイヤと路面の水を排除したりブレーキを掛ける際のグリップ力を高めたりしていますので、使用限界ラインぴったりではなく、**溝がなくなってきたあたり**での交換がおすすめです。

こんな状態ならタイヤ交換を

タイヤの溝がなくなってきた・ツルツルしている

ブレーキが効きににくくなってきた

タイヤに欠けが生じている

車高が低くなり地面に付きそうになっている

一目見るだけで交換タイミングがわかるタイヤも

フォークリフトを安全に使うには交換タイミングの把握が重要…とはいえ、確認するにはフォークリフトを止めないといけませんし、溝の様子まで細かくチェックするのは大変ですね。

そんな方におすすめなタイヤが、「M2タイヤ」です。

交換タイミングが近づくとオレンジ色の層が現れるため、**一目見るだけで**すぐに分かります。

フォークリフトを止める必要もなく、知識がなくても把握できますので、**手間なくリフト運用をより安全に**できます。



タイヤ自体の耐摩耗性がよく、ゴム量も多いことで長寿命ですので、安全性向上だけでなく**コスト削減も両立**させたいという方におすすめしております。

詳細については、弊社までお問い合わせください。

お気軽にご相談ください

弊社は単にフォークリフトのタイヤを販売するだけでなく、購買方法の変更や安全対策用グッズのご提案など、お客様の現場のお困りごとを解決するために全力を尽くしてまいります。

タイヤの交換方法がわからない、どう依頼すればいいか不安という場合も、弊社が窓口となってすべて手配いたしますので、ご安心ください。
お困りごとがございましたら、ぜひお気軽にご相談ください。

株式会社フクナガエンジニアリング

担当：辻田（つじた）・國武（くにたけ）

〒536-0014 大阪府大阪市城東区鳴野西5-13-30